

教科名	家庭科	週時間数	1時間	学年	2年
使用教科書 及び 副教材等	教育図書NEW技術・家庭 家庭分野～くらしを創造する～ ファイル(アイボリー) ※1年生の時と同じものを使用します。				

学習のねらい		○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭や衣食住について、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身につける。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え実践し、表現したりふり返ったりするなど、これからの生活をより良くしようと課題を解決する力をつける。 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、より良い生活を実現するために、生活を工夫しようとする姿勢や態度を身につける。			
目指す姿		支え合う	○グループ活動や実習を通して、仲間と関わり合い、自分の意見を伝えたり、他者の考えを受け入れ認めたりすることができる姿。 ○生活の中から見いだした問題について、課題を設定し、すでに習った知識や身につけた技能をもとに、また、仲間からの意見をふまえて、計画を立てたり、実践しようすることができる姿。		
		高め合う	○生活の中から見いだした問題や事象について、自分なりの考えをもつことができる姿。 ○課題を解決するための計画・実践や、話し合い活動、実習などを通して、自分の考えを見直したり、仲間からの意見をふまえて、新たな考えをもつことができる姿。		
学習の進め方		【学習への取り組む姿勢】 ○学習に必要なものを大切にしましょう。安心・安全に実習を行いましょう。 ○自分の考えをもち、積極的に発言したり、仲間と交流したりしましょう。グループ活動に取り組みましょう。 ○ポートフォリオ、ジャーナルには、自分の考えや学びをしっかりと記録していきましょう。 【提出物】 ○学期に1回(テスト前)に、ファイルチェックを行います。必ず提出しましょう。 【家庭学習】 ○課題、宿題が出ます。学んだことを活かして課題や実習に取り組みましょう。 ○テスト前にはプリントなどをよく見直しましょう。 【端末の活用】 ○意見や考えの共有、スライドやプレゼン資料の作成などの場面で使用します。 ○カメラを使用して成果物を記録したり、クラスルーム上で課題を提出したりします。			
定期テスト		出題方針	○授業で学んだ知識や、それにかかる技能が身につけているか確認する問題を出題します。 ○学んだことをもとに、身近な問題についてあなたがどう考えているか、どのように解決しようとするかを問う問題を出題します。		
			1学期中間	実施しない。	
			1学期期末	○教科書P12～17, 36～49, 58～67 ○授業で学習したプリント	
		範囲 (予定)	2学期中間	実施しない。	
			2学期期末	○教科書P18～33, 36～57 ○授業で学習したプリント	
			学 年 末	○教科書P212～237 ○授業で学習したプリント	
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	○定期テスト ○技能テスト ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○実習課題		・テストの「知識・技能」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・生活の自立に必要な知識について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけているかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	
	思考・判断・表現	○定期テスト ○ふり返りの記述内容 ○課題設定・解決の取組 ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○スライド等の発表、その成果物		・テストの「思考・判断・表現」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・ふり返りの際、家族・家庭生活に係る生活事象を協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点でとらえ、自分なりの考えをもち、自身の考えの変容やこれまでの学習についてふり返ることができるかを評価する。 ・課題設定・解決の過程において、既習事項と結び付けて考えたり、他の人の意見や考えをもとにしてよりよい方法を考えたりすることができるかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	
	主体的に学習に取り組む態度	○定期テスト ○ふり返りの記述内容 ○ポートフォリオ、パフォーマンス課題 ○ジャーナル		・テストの「主体的に学習に取り組む態度」に関する問題を80%以上解答できている(A評価)。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしているかを評価する。 ・学んだことを実際の生活の中で実践しようとし、具体的な場面や方策を挙げて考えることができるかを評価する。 ・その時間の学習をふり返って自身の課題を挙げ、それを改善するために具体的な方策を考え、次の時間に実践しようとする姿が見られるかを評価する。 ・ポートフォリオは、その課題に合わせたルーブリック評価表をもとに評価する。	

R7 家庭科2年 年間授業計画書

学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4	家族・家庭や地域とのかかわり	家族の一員としてできることを考える	1	
			家族関係をよりよくする方法を考える	1	
		幼児の生活と家族	子どもの成長について知ろう	1	
	5		幼児とふれ合ってみよう(保育実習の事前学習)	1	※感染症の拡大状況等に応じて実施を判断します。
			幼児とふれ合ってみよう(保育実習)	2	
	6		幼児とふれ合ってみよう(保育実習の事後学習)	1	
			幼児の体の発達を知ろう	1	
			幼児の心の発達を知ろう	1	
	7		幼児の生活習慣の身につけ方を知ろう	1	
			幼児の遊びと発達のかかわりを知ろう	1	
			学びを生かそう	1	幼児とのよりよいかわり方を工夫するパフォーマンス課題
2	9		幼児の間食について考えよう	1	
			幼児を間食をつくろう	2	※感染症の拡大状況等に応じて実施を判断します。
	10	家族・家庭や地域とのかかわり	家庭生活と地域とのかかわりを知ろう	1	
			地域の人々と協力・協働しよう	1	
			学びを生かそう	1	地域の人々と協働する方法を工夫するパフォーマンス課題
	11	私たちの住生活	住まいの働きを知ろう	1	
			家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	1	
			健康を守る室内環境の整え方を考えよう	1	
			家庭内事故について考えよう	1	
	12		災害に備えた安全な住まい方を考えよう	1	
3	1	生活を豊かにする製作	裁縫の基礎技能を身につけよう	2	
	2		学びを生かそう	8	布を用いた製作(計画、実習、評価)を行うパフォーマンス課題